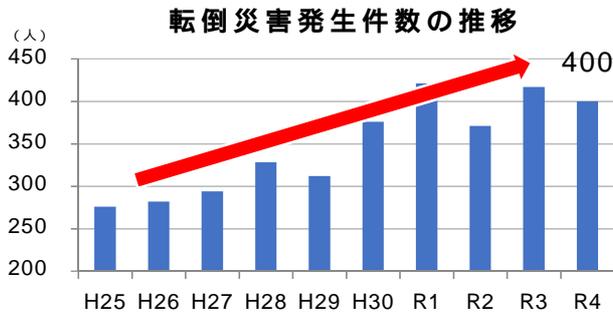


転倒災害（業務中の転倒による重傷）に注意しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています。
 転倒災害は、被災しないよう労働者自身が注意することも必要です。

転倒災害（業務中の転倒による重傷、休業4日以上）の発生状況（令和4年）



転倒による怪我の態様

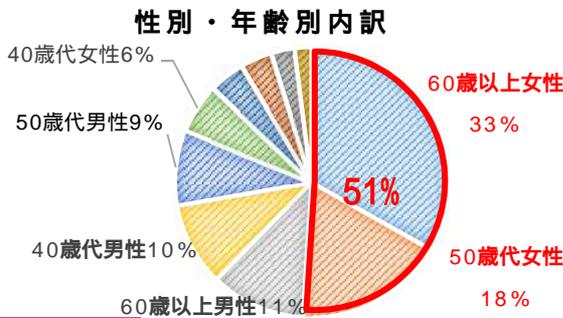
●骨折（約64%）

- 打撲
- 関節の障害（捻挫等）
- 創傷

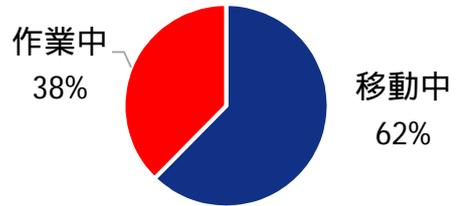
転倒災害による平均休業日数

41日

労働者死傷病報告による休業見込日数



転倒したのは・・・



転倒災害が起きているのは移動の時だけではなく

主な要因

- (なし) 何も無いところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
 会社から労働者への注意事項を記入しましょう（以下、取り組んでほしいところに記入願います。）
- 作業場・通路に放置された物につまずいて転倒
- 通路等の凹凸につまずいて転倒 数mm程度のもの
- 作業場や通路以外の障害物(車止め等)につまずいて転倒
- 水場（食品加工場等）で滑って転倒
- 雨で濡れた通路等で滑って転倒
- 凍結した通路等で滑って転倒
- こぼれていた水、洗剤、油等で滑って転倒
- コード等につまずいて転倒

加齢等による転倒リスク・骨折リスク

- 一般に加齢とともに身体機能が低下し、転倒しやすくなります 「ロコチェック」
- 現役の方でも、たった一度の転倒で寝たきりになることも 「たった一度の転倒で寝たきりになることも。転倒事故の起こりやすい箇所は？」（内閣府ウェブサイト）
- 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します
 対象者は市町村が実施している「骨粗鬆症健診」を受診しましょう



ロコチェック



内閣府ウェブサイト

